

創造と破壊の経済学

第1回
3/7(火)

家族像の創造と破壊 — 経済史の視点から —

講師 河合 康夫(本学経済学部教授)

第2回
3/8(水)

資本主義世界システムの超長期波動と 日本経済の盛衰

講師 横川 信治(本学経済学部教授)

第3回
3/9(木)

「つながる製品 (Smart Products)」の 企業間競争へのインパクト

講師 伊藤 誠悟(本学経済学部教授)

船は「泳ぐ」か? 人工知能は「考える」か?

講師 荻野 紫穂(本学経済学部教授)

第4回
3/10(金)

技術革新と経済社会のパラダイム転換

講師 杉本 伸(本学経済学部准教授)

会場▶本学1号館地下 1001教室 時間▶10時~12時(全4回) 定員▶先着250名

許可なく転載することを禁止します。

【受付期間】平成29年1月30日(月)~2月20日(月)

【受講料】全4回 2,000円(一般)

500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生)

無料(高校生、在学生*、後援会会員)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、
研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。

3/7(火) 家族像の創造と破壊 — 経済史の視点から —

講師: 河合 康夫(かわい やすお) 本学経済学部教授
1987年東京大学大学院経済学研究科第二種博士課程修了。経済学博士。1987年和歌山大学経済学部専任講師、1993年武蔵大学経済学部助教授を経て、2002年より同教授。政治経済学・経済史学会理事、日本経済学会連合評議員。専門は西洋経済史、特に近代イギリスの政策論争・政策思想史。

近年、日本では急速な未婚化や晩婚化の進展など、家族をめぐる変化が注目を浴びるようになってきました。しかし家族の変化は今に始まったことではなく、一部の歴史研究者は、これまで標準とされてきた家族を「近代家族」と呼んで、それがずっと存在してきた訳ではないことに着目してきました。このような家族像の変化の一端を、イギリス経済史の視点から、研究者の生きた時代状況の変化とも関連させて考えてみたいと思います。

3/8(水) 資本主義世界システムの超長期波動と日本経済の盛衰

講師: 横川 信治(よこかわ のぶはる) 本学経済学部教授
ケンブリッジ大学でPh.D.を修得し、アメリカン大学客員教員等を経て1988年から武蔵大学教授。研究分野は、政治経済学、金融不安定性、アジア経済と広範にわたる。代表的な著作は、『進化する資本主義』日本評論社、『狂奔する資本主義』ダイヤモンド社、『The Rejuvenation of Political Economy』(Routledge 2016)等がある。2014年にWorld Association for Political EconomyのDistinguished Achievement Award of World Political Economy of the 21st Centuryを受賞。

この講座では、資本主義経済には大きな超長期的な経済変動があり、それぞれどのような世界的経済システムが成立し、中心技術ならびに中心国が移り変わってきたかを踏まえて、日本の国際的位置づけの変遷ならびに未来を見ていきます。第1の超長期波動は、19世紀のイギリスを中心とする世界システムで、2番目は、戦後に確立したアメリカを中心とする世界システムですが、現在、このシステムは多極化期を迎え、経済成長の中心地がアジアに移行するなか、安定的な第3の超長期波動につながるのかが注目すべき点です。

3/9(木) 前半 「つながる製品(Smart Products)」の企業間競争へのインパクト

講師: 伊藤 誠悟(いとう せいご) 本学経済学部教授
銀行、自動車部品メーカー、シンクタンク勤務を経験後、2010年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。同年、一橋大学イノベーション研究センター研究員。2011年関東学院大学経済学部専任講師。2014年武蔵大学経済学部准教授を経て2015年から現職。専門は経営戦略論、製品開発組織論。

最近、IoT (Internet of Things) という言葉をよく耳にします。IoTとはモノが学習すること。モノに内蔵されたセンサを通じて情報が集まり、仮想サーバ上で蓄積され、ビッグデータとなる。そのデータをAI (人工知能) で解析し、モノにフィードバックする。この「つながる製品」が可能にする新たな世界は、産業構造や競争戦略にどのようなインパクトをもたらすのか。この講座では日本の製造業への機会と脅威の両面からIoTを考えます。

3/9(木) 後半 船は「泳ぐ」か? 人工知能は「考える」か?

講師: 荻野 紫穂(おぎの しほ) 本学経済学部教授
1988年東京女子大学大学院文学研究科修士課程修了。同年から日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所にて、機械翻訳、テキストマイニングなど、人間のこぼをコンピュータで扱う「自然言語処理」のプロジェクトに従事。2013年から現職。

近年、人工知能に関する特集や報道をよく見かける。「学習」ということばと人工知能とがペアで語られることが多いせいか、「人工知能は、優秀な人間と同じように、自分で考えて何でも実行してしまうのではないか」という偏ったイメージも散見される。この講座では、「人工知能」と呼ばれているシステムの実例を挙げて、現在の人工知能は、「人間のように考えている」のかどうかを考察する。

3/10(金) 技術革新と経済社会のパラダイム転換

講師: 杉本 伸(すぎもと しん) 本学経済学部准教授
1985年東京大学経済学部卒。東京大学大学院、東京大学社会情報研究所(現 大学院情報学環・学際情報学府) 助手を経て、1998年より現職。東京大学助手在籍時には、同研究所のネットワーク管理者、Webサーバーなどの構築・運用を担当。専門は現代資本主義論、ITによる経済社会の変容に関する研究。

現代社会を支える技術革新の過程では、技術そのものの力によって社会が変えられてきたと考えてしまいますが、技術革新による社会経済の変化過程をよく見てみると、技術革新がこれまでの社会の仕組みと衝突し、技術革新についての社会的合意形成が行われつつ、人々がその方向性を選択していることが分かります。その結果、ある新しい中核技術のもとで、新たなものの考え方＝認識規範(パラダイム)が確立していきます。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み
▼
<http://www.634.co.jp>


FAX、メール、郵送によりお申し込み
▼
下記の①～⑥を明記の上、
申し込み先まで送信(郵送)してください。
①第66回公開講座「創造と破壊の経済学」
②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号
⑤FAX番号(ある方)
⑥申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、
本学園後援会会員、本学在学学生、高校生)

●注意事項
(ア) いったん納入された受講料はお返しできません。(イ) 講師の病気その他やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。(ウ) 緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。(エ) 講義に支障をきたすような行為があった場合には、会場から退出していただくことがあります。(オ) 本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等のご来場はご遠慮ください。
●個人情報の取り扱いについて
武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学の個人情報保護指針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

※本学在学学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。
※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。
※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。
「受付票」は2月27日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ
〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内)
FAX : 03-5984-3787 E-mail : kouza@musashi.ac.jp

TEL : 03-5984-3785
URL <http://www.634.co.jp>

MUSASHI UNIVERSITY